

POLICY BOOK 2022

世界に誇る
強靱都市
大阪の実現

～「結の心」であたたかな未来をつくろう～



世界に誇る 強靱都市 大阪の実現

～「結の心」であたたかな未来をつくろう～



2019年に端を発し、世界に蔓延した新型コロナウイルス感染症は、世界経済に大きな打撃を与え、長期にわたって不安や困窮が拡大し続け、社会システムや人の弱さを露呈させることとなりました。一方で、デジタルインフラの活用が浸透し、世界との繋がり方やライフスタイルに至るまで、これまで当たり前だった私たちの暮らしに大きな変化をもたらしました。

人類はこれを機に、まだ見ぬ困難に立ち向かうために、未来を見据えどう歩を進めるべきなのかを考え、行動していかなければなりません。

これからの私たちは、都市の発展だけを考えて行動するのではなく、世界へ新たな価値観やライフスタイルを生み出す大阪・関西万博の開催や、その先の未来を見据え、持続可能な社会の在り方に関心をもつことも大切です。また、独自の文化や魅力を新たな取り組みによって世界に発信できれば、かつての高度経済成長のように、大阪はより発展することができるでしょう。

今こそ、授かるやさしさから生まれるしなやかな思いやりと、相手の個性を煌々と輝かせる強さを持ち、誠実に行動し続ける「結の心」を灯すことができれば、人びとは自然と結びつき、民の力が発揮され、誰もが当たり前の日常を過ごすことができるあたたかな未来への礎となる、世界に誇る強靱都市大阪が実現されるのです。

大阪青年会議所は1950年(昭和25年)、戦後荒廃の中、「『青年』それはあらゆる価値の根源である」との志の下、国家の再建と世界平和の実現に向けて日本で2番目に設立された青年会議所です。

2022年度も約700名の現役会員と約2,800名のOB会員が一丸となり、時流をつかむ柔軟性と時代を動かすエネルギーを最大限に発揮して大阪のまちのために行動して参ります。

結びに、多くの市民の皆様方、行政、企業、各種団体の皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 大阪青年会議所
第72代 理事長

梶本 秀則



思いやり溢れる 地域の ネットワークを 取り戻そう！

ICT技術の活用やリモート授業、様々なSNSの使用拡大など、技術の進歩により子供がこれまで以上に学ぶ環境が整いつつあります。

しかしながら、これから訪れる未来は大人でさえも先行きを予見することが困難です。

相對してのコミュニケーションが不足する今だからこそ、地域の大人が思いやりをもって、子どもの主体的な思考力や想像力を育み、ささえ見守ることのできるあたたかな地域ネットワークを取り戻す必要があります。

誰もが地域に愛着をもち、
子どもの「生き抜く力」を育む
あたたかなコミュニティの形成

誰もが愛してやまない
先駆けた
共生地域モデルを実現！



これまで以上に学ぶ環境が整いつつある今、学校や家庭の枠組みにとらわれず、子どもの可能性を引き出す環境が必要です。

私たちは、企業や商店など大阪市各区内で仕事を営む人びとと連携し、地域の大人が子どもの成長を支えるという本来の地域の在り方をアップデートします。

誰もが夢や希望を
実現できる
あたたかな地域の連携！



これから迎える未来は、大人でさえも見通すことが困難です。ライフスタイルの変化や予見される自然災害など、未来を生き抜くには思考と行動の繰り返しを身に着ける環境が必要です。

私たちは、新たな資産となる文化を育むコミュニティを創り出し地域の繋がりを取り戻します。



世界に 共感を広げる 新しい価値を 生み出そう！

若者が何度でもチャレンジできる環境が世界と比べても少なく、また、既存の枠組みを超えて課題を解決し得る協働が生まれづらい状況にある現在、大阪の経済成長に寄与する人びとの繋がりが重要です。

今こそ、若者に挑戦する意欲と夢を実現する力を与え、在阪企業や研究機関、行政等の連携で新たな価値を生み出し、持続的に世界により良い変化をもたらすビジネス基盤の確立が必要です。

世界により良い変化をもたらす
新たな価値を生み出す経済基盤の確立

世界で活躍する若者を
生み出し続ける仕組みを
生み出そう！



世界と比較して若者が挑戦しづらい環境がある現在、若者の能動的な行動による都市の経済発展が必要です。
今こそ、大阪から世界へと、課題解決の礎となるビジネスを発信していくべく、次世代を担う若者のチャレンジを何度でも後押しし続ける企業家ネットワークを構築します。

産官学の協働で
課題解決型ビジネスを
生み出そう！



課題解決に取り組むビジネスが数多く生み出される一方、協働による持続可能な在り方を確立しなければなりません。
今こそ、大阪の強みである中小企業を中心に、研究機関、行政等の連携で新たな価値を生み出し、課題解決へ挑戦し続ける産官学のプラットフォームを構築します。



あらゆる困難を
乗り越える繋がりを
構築しよう！



災害に対する意識は、時間が経つにつれてどうしても低下してしまいます。
危機意識を呼び覚ますだけでなく、それぞれが自らの役割をもち、有事の際には互いに手を取り合い、企業の連携によって地域の再興を促す仕組みを構築します。

都市の未来を創る
主権者としての共感を
広げよう！



大阪・関西万博を控え、期待が高まる一方、市民や企業の関心が高まるまでには至っていません。
政治や行政への関心を高めるとともに自分たちが未来をつくるためのムーブメントを生み出す若者を増やします。

民の力で 都市モデルを 共創しよう！

近い将来に予見される自然災害に対する不安や、大阪・関西万博をはじめとする期待が訪れる一方で、「自分たちのまちを良くしよう」という意識は薄れつつあります。
今こそ、主体性をもって手を取り合い、社会の一員として自らが果たすべき役割があることを知り、官民一体となって未来を創り上げていく都市のあるべき姿を取り戻さなければなりません。

自らの都市を思う人びとの立場を超えた
強靱な都市モデルの確立



Junior Chamber International Osaka
一般社団法人 大阪青年会議所

大阪青年会議所は「奉仕」「修練」「友情」を活動の基本として、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、大阪のまちに住み暮らす人びとや子ども達の笑顔のために活動を続けている団体です。

JCI大阪と
ともに歩む
大阪市長からの
メッセージ

■思いやり溢れる地域のネットワークを取り戻そう！

日本、大阪の将来を活性化していくために必要なこと。それは経済的な観点から見ても、子どもたちが生き抜く力を身につけることが何より大事だと考えます。ICT技術が進歩し新しい価値観が生まれる中であっても、子どもたちを育む地域コミュニティの重要性は増えています。新しい時代の子どもたちを新しい価値観を持つ地域で育てていきましょう。

■世界に共感を広げる新しい価値を生み出そう！

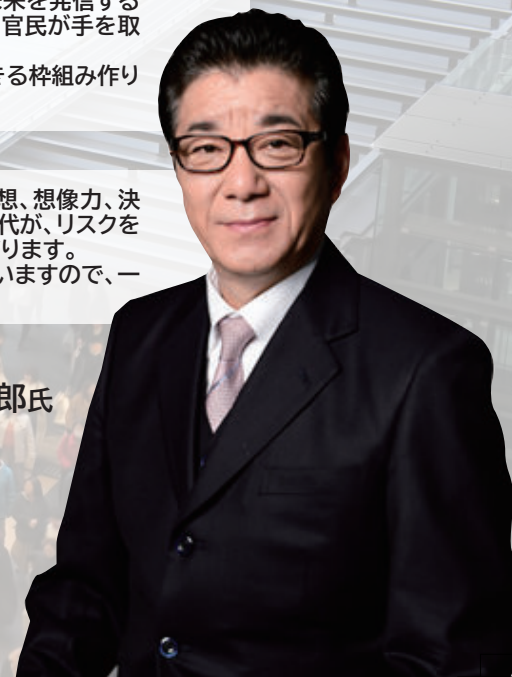
新しいことにチャレンジする精神が大阪には根付いています。若者が世界の人々と関わり新しいビジネスを創出することや、産官学が共同で世界の課題を解決できるビジネスが求められています。大阪独自の文化の中で生まれる技術やアイデアを世界に発信できる人材を生み出す仕組みを作っていきましょう。

■民の力で都市モデルを共創しよう！

大阪はもともと「官のまち」ではなく「民のまち」です。大阪・関西万博を控え民が主体性を持って大阪の未来を発信する絶好の機会です。一方で迫りくる自然災害に対して官民が手を取り合い強い大阪をめざすことも大切です。今こそ「民のまち」大阪が日本の経済成長を牽引できる枠組み作りを共に構築していきましょう。

大阪、関西のさらなる成長のためには、若い力、発想、想像力、決断、実行力が必要です。JCの皆さんのような若い世代が、リスクを取ってでも挑戦することが大阪の成長に必ずつながります。皆さんとともに、大阪を成長させていきたいと思っておりますので、一緒に頑張ってください。

大阪市長
松井 一郎氏



団体概要

団体名

一般社団法人 大阪青年会議所

創立年月日

1950(昭和25)年3月25日

社団法人格取得年月日

1955(昭和30)年1月17日

一般社団法人移行年月日

1955(昭和30)年1月17日

事務局所在地

〒552-0007

大阪市港区弁天1-2-30 オーク4番街401号室

連絡先

TEL:06-6575-5161

FAX:06-6575-5163

正会員数

734名(2021年12月31日現在)

OB会員数

2,727名(2021年12月31日現在)

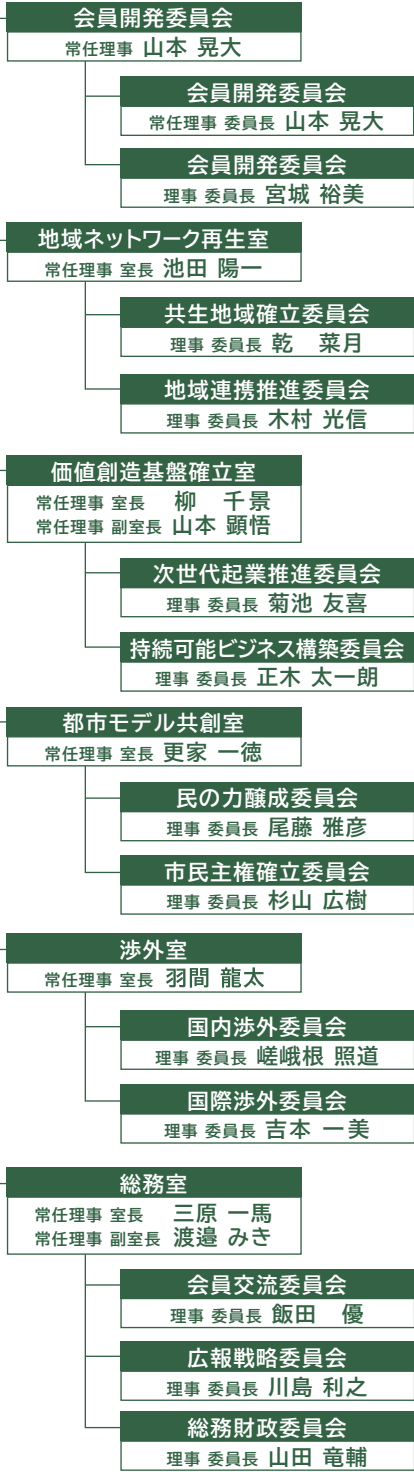
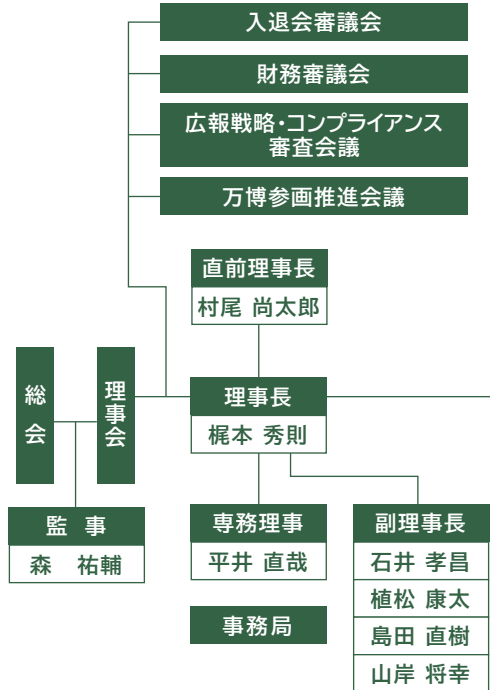
事業年度

1月1日~12月31日

URL

<https://www.osaka-jc.or.jp/>

2022年度
大阪青年会議所
組織図



理事長 梶本 秀則	直前理事長 村尾 尚太郎	副理事長 石井 孝昌	副理事長 植松 康太	副理事長 島田 直樹	副理事長 山岸 将幸
専務理事 平井 直哉	監事 森 祐輔	常任理事・委員長 山本 晃大	常任理事・室長 池田 陽一	常任理事・室長 柳 千景	常任理事・副室長 山本 顕悟
常任理事・室長 更家 一徳	常任理事・室長 羽間 龍太	常任理事・室長 三原 一馬	常任理事・副室長 渡邊 みき	理事・委員長 宮城 裕美	理事・委員長 乾 菜月
理事・委員長 木村 光信	理事・委員長 菊池 友喜	理事・委員長 正木 太一郎	理事・委員長 尾藤 雅彦	理事・委員長 杉山 広樹	理事・委員長 嵯峨根 照道
理事・委員長 吉本 一美	理事・委員長 飯田 優	理事・委員長 川島 利之	理事・委員長 山田 竜輔	2022年度 理事会構成メンバー	

マチクラでつながれ DIY YOUR BASE

商店街の空き店舗を、地域のコミュニティスペースとして再生。その地域に住む子どもたちと地元の方々と共同でリノベーションしました。そのスペースを使って子どもフリーマーケットや子ども秋まつりを開催。イベント開催後も、地域の連携を深める場所として使われ、商店街活性化に一役を担っています。



Global Young Academy Osaka～食で未来を創ろう～

高校生が社会課題を自分事として捉えビジネスによって解決する事業。最前線で活躍する講師陣のサポートのもと、仲間とともに切磋琢磨しながら課題を解決に導けるビジネスプラン作成しました。ビジネスコンテストでは、自分たちが生み出したビジネスプランを発表しました。



献血にいったんでプロジェクト大阪2021



献血協力者不足を解消するために、日本赤十字社と連携し、まちの人びとへ献血推進を行いました。若い世代へ献血の重要性や少しの協力で多くの命を繋ぐことができることを伝えました。

共育先生～夢だけもったっていいでしょ！～



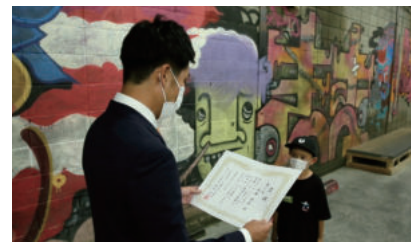
子どもと大人が共に成長する「共育力」をテーマに、共育とSDGsへの企業取り組み事例などを動画で配信。大人が子どもの共育に参加する意義をSNSで展開しました。また、大阪の企業に勤める大人が講師となり大阪市内の小学校へ出張授業を実施。子どもと大人の相互成長を確立しました。

2021年度の主な活動レポート

Main activity reports

みんなで発掘！すご技キッズ

地域での子どもたちの活躍を後押しするため、子ども特技王選手権を開催。地域の方々が「いいね」や「コメント」をSNSに投稿する形で子どもたちを応援してもらいました。そのコメント数や特技の内容などで総合的に審査を行いグランプリを決定しました。



大阪未来博2021

スポーツ、地域連携、ビジネスモデル、未来の都市のライフスタイル、2025年大阪・関西万博とSDGsの関連性の5つをテーマにフォーラムを開催。私たち一人ひとりが「今」行動を起こすべき未来について都市へのビジョンを多くの著名な講師を招いて話してもらいました。



未来Co-Laboなにわっとグループワーク



大阪の経済にイノベーションを起こす環境を構築するため、地域に根ざす企業と若手起業家を対象に、デジタル技術をテーマにグループワークを行いました。自らの会社とまちにデジタル技術を活用する新しいアイデアが生まれました。

Good Cycle Project



環境と成長が好循環する社会を創っていくために、持続可能な社会の実現に向けた活動を広く波及できる人の創出を目的に事業を展開。海洋プラスチック問題を切り口に大学生が、様々な講師による講演や実感研修、グループワークやプランニングの構築を行いました。